

『2013 年上半期（1月～6月）JVA統計調査』について

当協会は9月10日(火)午後1時30分より、協会会議室において『2013 年上半期（1月～6月）JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2013 年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.76』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

2013 年上半期（1月～6月）の実績について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は1203億6100万円で前年同期比98.8%となった。
そのうち、ブルーレイの売上金額は396億5000万円で同125.3%と拡大傾向が続いており、全体に占める割合も32.9%と3割を超えた。一方、DVDビデオは807億1100万円で前年同期比89.5%と割り込んだ。
2. DVDビデオの販売用とブルーレイの販売用を合計した販売用全体の総売上金額は878億500万円で前年同期比103.6%と前年同期を上回ることとなった。一方でDVDビデオのレンタル店用とブルーレイのレンタル店用を合計したレンタル店用全体の総売上金額は319億7200万円で同87.8%となり、販売用市場は伸長しているものの、レンタル店用市場の減少傾向が影響し、全体の売上が前年同期割れとなった。業務用は5億8400万円で前年同期比は83.8%となった。販売用、レンタル店用、業務用の市場別売上金額の割合は73.0：26.6：0.5だった。
3. 販売用全体の総売上金額に占めるDVDビデオとブルーレイの割合は、57.2：42.8となり、ブルーレイの割合が増してきている。
DVDビデオの販売用売上金額は、502億5200万円で前年同期比91.3%と減少傾向が続いているのに対し、ブルーレイの販売用売上金額は375億5300万円で同126.4%と伸長が続いており、DVDの落ち込みをカバーすることとなった。
販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比1位は『日本のアニメーション

(一般向け)』(構成比 33.8%)で前年同期比 113.8%、2位に『音楽(邦楽)』(同 28.8%)で同 112.4%といずれも二桁の伸長となり好調が続いている。3位は『洋画』(同 9.8%)だが前年同期比は 89.1%と割り込んだ。構成比 4位の『邦画』(同 6.7%)は同 143.3%と大きく伸長した。

各ジャンルごとの売上金額におけるブルーレイの構成比では、『日本のアニメーション(一般向け)』が前年同期の 69.0%から 74.2%に増加、2/3をブルーレイによる売上が占めることとなった。『洋画』は 43.2%→47.2%、『邦画』は 28.8%→38.0%、『音楽(邦楽)』は 13.2%→24.2%とそれぞれのジャンルでブルーレイの割合が高くなってきているが、特に『邦画』や『音楽(邦楽)』では 10%程度の上昇となり、ブルーレイへのシフトが加速してきている様子がうかがえる。

4. レンタル店用全体の総売上金額に占める DVD ビデオとブルーレイの構成比は、93.7 : 6.3 で、相変わらず圧倒的に DVD ビデオが占めている。ブルーレイのレンタル店用は 20 億 1800 万円で同 105.3%と伸長はしているものの、DVD ビデオのレンタル店用売上金額が 299 億 5400 万円で同 86.8%と落ち込みが大きく、レンタル店用全体も前年同期を割り込むこととなった。

以 上